工芸の素材と道具、工程技術者に関する調査

ご協力のお願い

私どもCoJ（一般社団法人ザ・ クリエイション・オブ・ジャパン）では、以下の調査を実施いたしております。
今回、実に6年ぶりの調査事業となります。実際に課題に直面されていらっしゃるかたにご記入いただくものですが、お近くでお困りのかたは本調査をご存じないかもしれません、そのため、よろしければ、周囲のものづくりのプロのかたに、本状を転送、もしくはお渡しいただき、可能な範囲でお困りのことを聞き出すご協力をいただけましたら幸甚です。
2022年3月末〆切となります、何卒、宜しくご協力下さいますようお願い申し上げます。

一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン
「絶滅危惧の素材と道具」推進グループ

記

1.「WANTED！」　（ご自分が）探しているのにみつからないもの
ものづくりの製作者が実際に探している「素材」や「道具」および「工程技術者」を、求める条件を明らかにして記載するものです。お近くの製作者がお探しのものがあれば、聞き取りのうえご記入ください。

2.「イエローリスト2021」　社会で連携して維持・継続の手立てを考えたいもの
ご自分のみならず、同業もしくは異業種でも確保に困っている、社会課題としての側面のある素材や道具、工程技術者の枯渇情報を記載するものです。伝聞情報の場合は、実際に困っているかたの情報をご記入ください。

調査の目的について：

遠くない未来、いま電話一本で手に入るものの多くが、急に入手できなくなる日がやってきます。
一旦失われたものの復活には大きなエネルギーを要し、実際に使える素材や道具をつくりあげることは、容易ではありません。
工芸におけるエッセンシャルワーカー（素材・道具・工程技術者）たちを支える事業や、技や知恵を承継できるシステムを、異なる文化領域が連携して、皆で考案できればと考えています。

本年2022年9月より始まる、『日本工芸週間』のなかで、毎年1回、課題解決に向けた活動を、多くの構成団体と連携して、定期的に行っていくことになりました。そこには、環境分野や福祉、廃棄物処理、SDGsの知見の有る方々にもお集いいただけており、かつて無かった新たな情報や視点が注がれていて、今後の新しいアプローチの可能性が生まれています。

上記二種の調査は、そこでの議論のテーブルに載せ、「足りない・欲しい」情報を、どこかで「余っている」かたとのマッチング及び、「需要を量的に集めて」復刻を試みるためのものです。
まずは、民間でやっておくべき下準備の作業からはじめ、「日本工芸週間」を機に準備されている課題解決に活用可能なウェブサイトでも、この情報が中核になり、今後のかたちづくりに活かされてゆきます。
なお、本調査情報は、関係の行政機関とも共有を予定しております。

ご記入後の提出先について：
FAX、メール、郵送等でお送りいただけます。

FAX：　03-3573-3315
Mail：　info@thecreationofjapan.or.jp
郵送：　〒104-0061　東京都中央区銀座5-3-12壹番館3階
一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン　2022調査事業担当宛

WANTED!

来年も、将来も、つくり続けるために。求む！提供者、情報。入手困難で、探している工芸素材、道具、工程技術者はこれです

＊本用紙に記入のほか、メールで記入欄の番号順に情報をお送りいただくこともできます　＊送信時の件名は「WANTED!」でお願い致します

写真添付欄	構造説明 図解など

品名·工程名

1

求める条件（求める機能、サイズ、素材、数量などできるだけ詳しくご記入ください）

2

ここから非公開情報

希望価格帯は?

（お試しのロット）で（いくらからいくら）

3

通常の発注量は?

4　　年で　　くらい

その他の情報:

5 選択式

- ☐ 「使える」ものである必要がある　（条件:　　）
- ☐ 安定供給を希望する
- ☐ 他にも希望者を集めたい　（☐ 同業者　☐ 異分野 ）
- ☐ （設備の場合）リースやレンタル、シェア工房も検討したい
- ☐ （部品の場合）廃業者の設備から再活用可能なパーツの譲渡を可能にすべき
- ☐ （工程技術者の場合）どこか団体で仕事を常時受けてもらえる環境をつくって欲しい

回答者情報	
お名前：**6-1**	所属：**6-2**
お電話：**6-3**	メール：**6-4**
ご住所：**6-5**	

記入後送付先

FAX：03-3573-3315　　**MAIL：info@thecreationofjapan.or.jp**

YELLOW LIST 2021

10年先に枯渇が懸念される工芸素材・道具・工程技術者調査

＊本用紙に記入のほか、メールで記入欄の番号順に情報をお送りいただくこともできます　＊送信時の件名は「イエローリスト2021」でお願い致します

公開情報

枯渇が懸念される素材や道具の名称をお答えください	種別（✔ 記入）	その用途や使用する工程などをご記入ください
1-1	1-2 ☐ 素材 ☐ 道具 ☐ 工程技術	1-3

わかる範囲で現在の状況をお知らせください

素材や道具の提供者（その状況）	10年前と現在の入手状況の変化	入手不可の場合はどうなりますか?
2-1	2-2	2-3

非公開情報（インターネット等では公開しない情報）

問題点の詳細（該当するものに○をお願いします）

現況	課題の種類	この課題の解決に向け、必要な取り組みはなんでしょうか
3-1 1. 既に入手不可 2. 製造業者なし 3. 製造業者がわずかである（　　軒） 4. つくることができる人が少ない 5. 素材がない 6. 代替品はあるが使えない その他：	3-2 1. 生産者・採取者がいない 2. 製法が伝承されていない/技術者がいない 3. 法的規制により入手不可 4. 品質の低下 5. 価格の高騰 6. 需要の低下により商売が成り立たない その他：	4-3

今後の可能性についてお伺いいたします

同じ素材・道具（用具）を扱っている別の業界・職人等はありますか?	代替品になり得る可能性がある素材や道具はありますか?
4-1 例）素材＝刷毛に使う人髪→鬘製造業 等	4-2

本件についてヒアリングすべきところ　※複数可（お名前・ご連絡先などわかる範囲で）

4-4

回答者情報

お名前：5-1	所属：5-2
お電話：5-3	メール：5-4
ご住所：5-5	

記入後送付先

FAX：03-3573-3315　　MAIL：info@thecreationofjapan.or.jp

回答例

YELLOW LIST 2021

10年先に枯渇が懸念される工芸素材・道具・工程技術者調査

＊本用紙に記入のほか、メールで記入欄の番号順に情報をお送りいただくこともできます　＊送信時の件名は「イエローリスト2021」でお願い致します

公開情報

枯渇が懸念される素材や道具の名称をお答えください	種別（✔ 記入）	その用途や使用する工程などをご記入ください
1-1 胡粉（イタボガキ）	1-2 ✔ 素材 / □ 道具 / □ 工程技術	1-3 工芸全般・絵画の地塗り・彩色・仕上げ・装飾・塗装に使う

わかる範囲で現在の状況をお知らせください

素材や道具の提供者（その状況）	10年前と現在の入手状況の変化	入手不可の場合はどうなりますか?
2-1 ナカガワ胡粉絵具（株）が制作・販売 世界で一軒のみ	2-2 瀬戸内海のヘドロにより20年前にイタボガキが絶滅、現在はそれ以前のものを材料として生産されている。	2-3 ・保存修復が必要なものの修復ができなくなる ・絵馬、玩具、あらゆる伝統的な人形作りができなくなる

非公開情報（インターネット等では公開しない情報）

問題点の詳細（該当するものに○をお願いします）

現況	課題の種類	この課題の解決に向け、必要な取り組みはなんでしょうか
3-1 ① 既に入手不可 2. 製造業者なし ③ 製造業者がわずかである（ 1 軒） 4. つくることができる人が少ない 5. 素材がない 6. 代替品はあるが使えない その他：イタボガキに代わる代替品がみつかっていない	3-2 1. 生産者・採取者がいない 2. 製法が伝承されていない/技術者がいない 3. 法的規制により入手不可 4. 品質の低下 5. 価格の高騰 6. 需要の低下により商売が成り立たない その他：素材がない	4-3 切羽詰まっている現状を業界全体で認識して、課題解決に向かう足場をつくること

今後の可能性についてお伺いいたします

同じ素材・道具（用具）を扱っている別の業界・職人等はありますか?	代替品になり得る可能性がある素材や道具はありますか?
4-1 例）素材＝刷毛に使う人髪→鬘製造業 等 豆菓子・漢方薬	4-2 天然岩ガキが代替品として考えられ、食用サイズよりも大きく養殖することでイタボガキに近づけられる可能性大

本件についてヒアリングすべきところ ※複数可（お名前・ご連絡先などわかる範囲で）

4-4

回答者情報

お名前：5-1	青木芳昭	所属：5-2	京都芸術大学
お電話：5-3	○△□-○△□-○○○○	メール：5-4	△△@□□□□.jp
ご住所：5-5	茨城県○○市△△△町1-1		

記入後送付先

FAX：03-3573-3315　　MAIL：info@thecreationofjapan.or.jp